

Yatsugatake Kogen Salon Concert



緑陰に射す

「偉大な芸術家の思い出に」

堤剛・伊藤恵 荒井里桜

真夏の三重奏

2024年 **8.14** 水 15:00開演 (14:30開場)

八ヶ岳高原音楽堂 料金 ¥10,000
主催: 八ヶ岳高原ロッジ

お問い合わせ・お申し込み

八ヶ岳高原ロッジ 0267-98-2131 受付時間 9:00~19:00

セブンチケット

セブンイレブン マルチコピー機 セブンチケットでも、コンサートチケットのお取り扱いをしております。
※宿泊プランの取り扱いはございません。

※お席は当日ホール受付にてグループごとでの抽選となります。

※曲目・内容は変更になる場合がございます。

※就学前のお子さまのコンサートへのご同伴・ご入場はご遠慮
くださいませ。

※コンサートチケットはご予約後のキャンセルはできません。



ベートーヴェン: ピアノ三重奏曲第4番 変ロ長調

「街の歌」作品11

ブラームス: チェロ・ソナタ第1番 ホ短調 作品38

チャイコフスキー: ピアノ三重奏曲 イ短調

「偉大な芸術家の思い出に」作品50

[出演]

堤 剛 (チェロ)

伊藤 恵 (ピアノ)

荒井里桜 (ヴァイオリン)



©鍋島徳恭

©AMUSE Photo Takahiro Sakai

響き、歌う 音楽リゾート。

こけら落とし公演の音楽監修であった、スヴァトスラフ・リヒテルの「世界でも通用するような建物を」という言葉を活かし、武満 徹の助言を得て1988年 八ヶ岳高原音楽堂が誕生しました。木のホールならではの耳に心地よい音は、小ホールとして理想的と言われる「残響1.6秒」。大自然に抱かれて、四季の彩りと、時の移ろいを感じながら聴くコンサートは、一期一会の感動体験に。広大な高原リゾートを舞台とする、音楽の旅をお楽しみください。

堤 剛 Tsuyoshi Tsutsumi

チェロ



©福島徳典

名実ともに日本を代表するチェリスト。桐朋学園子供のための音楽教室、同学園高校音楽科を通じ齋藤秀雄に師事。1961年インディアナ大学に留学し、ヤーン・シュ・シュタルケルに師事。1963年ミュンヘン国際コンクールで第2位、続いてカザルス国際コンクールで第1位入賞を果たし、現在に至るまで世界各地から招かれ、オーケストラとの協演、リサイタルを行っている。

1971年高井音楽賞(現サントリー音楽賞)、1973年「ウジェーヌ・イザイ・メダル」(ベルギー)、1974年「芸術祭放送大賞」、1980年「芸術祭優秀賞、レコードアカデミー賞」、1987年「モービル音楽賞、N響有馬賞」、1993年「日本芸術院賞」、1998年「中島健蔵音楽賞」などに加え、2009年秋の紫綬褒章を受章。また同年、天皇陛下御在位二十年記念式典にて御前演奏を行った。

2013年、文化功労者に選出。2014年インディアナ大学より「トーマス・ハート・ベントン ムーラルメダル」、2016年「ウィーン市功労名誉金章」、「2016年度毎日芸術賞(音楽部門)」、2018年「文化庁創立五十周年記念表彰」など多数受賞、表彰されている。

最近の録音では「肖像」が2021年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞を受賞、今年5月には「R. シューマン:民謡風の5つの小品」をリリースした。

2020年秋にはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団日本公演においてソリストを務め、大反響を呼んだ。カナダ・西オンタリオ大学准教授、アメリカ・イリノイ大学教授、インディアナ大学教授を経て、現在桐朋学園大学特命教授(元学長2004~2013年)、韓国国立芸術大学客員教授、霧島国際音楽祭音楽監督。公益財団法人サントリー芸術財団代表理事、サントリーホール館長、日本演奏連盟理事長。日本芸術院会員。

2022-2023シーズンは80歳記念公演を行うなど、精力的に演奏活動を行っている。

伊藤 恵 Kei Itoh

ピアノ



©武勝 真

幼少より有賀和子氏に師事。桐朋学園高校を卒業後、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学、ハノーファー音楽大学において名教師ハンス・ライグラフ氏に師事。エピナール国際コンクール、J.S.バッハ国際音楽コンクール、ロン＝ティボー国際音楽コンクールと数々のコンクールに入賞。

1983年第32回ミュンヘン国際音楽コンクールのピアノ部門で日本人として初の優勝。サヴァリッシュ指揮バイエルン州立管と共演し、ミュンヘンでデビュー。その後もミュンヘン・シンフォニカ、フランクフルト放送響(現frb)、ベルン響、チェコフィルの定期公演などに出演。日本では「若い芽のコンサート」でN響との共演をはじめ、各オーケストラとの共演、リサイタル、室内楽、放送と活躍を続けている。CDの代表作は、シューマン:ピアノ曲全曲録音「シューマンアーナ1~13」。2007年秋には全集完成記念コンサートを行った。さらに、2008年にリリースを開始した「シューベルト ピアノ作品集1~6」は1作ごとに注目を集め、第6集は2015年度レコード・アカデミー賞、第70回文化庁芸術祭優秀賞を受賞。2018年にリリースされた「ベートーヴェン ピアノ作品集1」、最新盤の「ベートーヴェン ピアノ作品集2」(フォンテック)は、いずれもレコード芸術特選盤を獲得。

また、サイトウ・キネン・フェスティバル本場をはじめ武生国際音楽祭、軽井沢音楽祭、リゾナーレ音楽祭、東京・春音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンなどに参加。1999年から2006年までの8年シリーズではシューマンを、2008年から2015年4月までの新たな8年シリーズではシューベルトを中心としたリサイタルを開催し好評を博した。2018年からはベートーヴェンを中心としたシリーズを開始。1993年日本ショパン協会賞、1994年横浜市文化賞奨励賞受賞。2018年ジュネーブ国際音楽コンクールの審査員も務めた。現在、東京藝術大学教授、桐朋学園大学特任教授。

荒井里桜 Rio Arai

ヴァイオリン



©AMUSE PHOTO Takahiro Sakai

1999年東京都出身。東京藝術大学音楽学部を特待奨学生として在籍したのち首席卒業、アカンサス音楽賞及び三菱地所賞受賞。また、在学中に福島賞、安宅賞、宮田亮平奨学金を受賞。ローザンヌ高等音楽院卒業。

第15回東京音楽コンクール弦楽部門第1位及び聴衆賞。第87回日本音楽コンクールバイオリン部門第1位、併せてレウカディア賞・鷺見賞・黒柳賞を受賞。第7回仙台国際音楽コンクールバイオリン部門第6位。

NHK響、読売日響、ローザンヌシンフォニエッタ、マカオ管、東京響、東京フィル、新日本フィル、東京シティ・フィル、関西フィル、大阪フィル、セントラル愛知交響楽団、仙台フィル、日本フィル、神奈川フィル、群馬、豊大フィル等と共演。

留学先のスイスでは、コンサート以外に慈善活動などにも精力的に取り組む。題名のない音楽会、NHKをはじめ、ラジオやメディアへも多数出演。第17回ベストデビューアワード受賞。2024年度ROOM ミュージック ファンデーション奨学生。

現在の使用楽器は、(株)日本ヴァイオリンより賞与の1837年製「J.F.Pressenda」。

これまでにジャンヌ・マンセン、ジェラルド・ブーレ、永峰高志、澤和樹、山崎貴子、堀正文、玉井菜採の名氏に師事。

八ヶ岳高原海の口自然郷

八ヶ岳東山麓に広がる約200万坪の緑あふれる高原リゾート。1960年代前半、過放牧により治水能力を失った牧場跡地に、33万本を超えるカラマツを植えることから開発をスタート。以来50余年、大切に育んでまいりました。

鮮やかに彩られる高原の夏



夜空に浮かぶ満天の星



高原の夏の風物詩「マルバダケブキ」



自然に囲まれたくつろぎのひとときを

リゾートホテル「八ヶ岳高原ロッジ」 コンサートチケット&宿泊プラン

お好きな客室をお選びいただける、リゾートホテル「八ヶ岳高原ロッジ」のご宿泊プランをご用意しております。コンサートの余韻と共に、ゆっくりとおくつろぎください。

宿泊プランに含まれるもの

- コンサートチケット
- ご宿泊
- ご夕食
- ご朝食
- サービス料、消費税

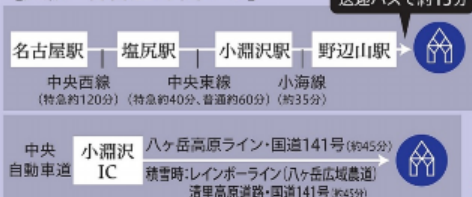
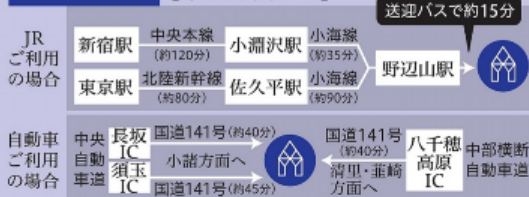
料金(1泊/お1人さま)

ルームタイプ	1室1名	1室2名	1室3名
スタンダード	62,700円	44,200円	38,200円
デラックス	78,700円	52,200円	43,500円
ジュニアスイート	105,200円	64,200円	51,500円
スイート	156,700円	89,200円	68,200円

※上記以外のルームタイプもごございます。
※1室最大4名さままでご利用できる客室もごございます。
詳しくはお問い合わせください。
※ご夕食はレストラン「花庭」にてシェフおすすめ特別ディナー(洋食)となります。

交通のご案内

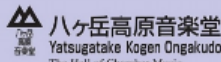
JR小海線・野辺山駅～八ヶ岳高原ロッジまでは、無料送迎バスがごございます。(要予約)
[東京方面から] [大阪・名古屋方面から]



お問い合わせ お申し込み

TEL 0267-98-2131 受付時間 9:00~19:00
FAX 0267-98-3133

八ヶ岳高原ロッジ 検索
WEB <https://www.yatsugatake.co.jp>



西武池袋本店 TEL 03-5979-8480
八ヶ岳高原情報サロン
そごう横浜店
八ヶ岳高原情報コーナー TEL 045-465-5577

〒384-1302 長野県南佐久郡南牧村八ヶ岳高原海の口自然郷

